

上海でインテリアコーディネーターを始めた

ひと 2011

住宅の内装や家具の色彩などを助言するインテリアコーディネーターの仕事はこの春、中国・上海で始めた。自宅がある札幌と現地を頻繁に行き来し、「上海は人やまちが活気にあふれていて楽しい」と話す。

札幌市生まれ。父親が家具工場を経営し、幼いころからインテリアに興味があった。インテリアコーディネーターの資格は1999年に取得。主に内装の決定権を持っている奥さんと、とことん話し合って方向性を決め

谷 展子 さん



る」のがモットーで、個人で年20件以上の物件を手がけている。

上海は市場調査のため、昨年1月に初めて訪れた。次々と大きなマンションが建つ発展ぶりに目を見張る一方、内装の

色彩に調和が取れていない家も多く、「十分仕事になる」と直感。すぐに

小学2年の長女と中国語教室に通い始め、今年1月に現地法人を設立した。

スタッフ2人を雇い、現地法人の理事長(会長)として自ら営業に回る。

明るく積極的な性格が受け入れられ、既に8件の仕事を請け負った。目標は中国で道産材を広めること。「中国の家屋は、日本の基準で健康面に問題があるとして認められていない接着剤や塗料を、まだ使っている。道産材をはじめ体に優しい日本の建材を広めて、中国人の生活改善に役立ちたい」。夫(42)、長女(8)と3人暮らし。43歳。(河相宏史)